

日本画 水上泰生「竹林遊鶏図」



「県展」と共に

歩んだ作家展

公益社団法人

福岡県美術協会創立80周年記念

公益社団法人 福岡県美術協会 理事長 小田部 黄太

福岡県美術協会は昭和15年、第1回福岡県美術展の開催にともない創立され今年度創立80周年を迎えました。今日、公益社団法人としておよそ800人の会員を擁し、県展を中心に様々な活動を行っている福岡県美術協会ですが、多くの先人の福岡の美術文化に対する思い、様々な取り組みや努力によって今日を迎えていることを決して忘れてはなりません。また、協会を支えていただいている、多くの賛助会員の皆様、会員外の監事である篠原監事、顧問弁護士、顧問税理士の皆様等、関係各位の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

本年は、「コロナ禍で「県展」も中止になるなど、日本国内のみならず世界的に美術や文化の活動も大きな影響を受けております。本協会といえども、当初は80周年を記念し展覧会に加え講演会や祝賀会を開催し、会員の懇親を図ると共に賛助会員の皆様や、美術館関係者、地域の皆様等と交流、懇親を図ることを計画しておりましたが、残念ながら今回は断念せざるを得ません。

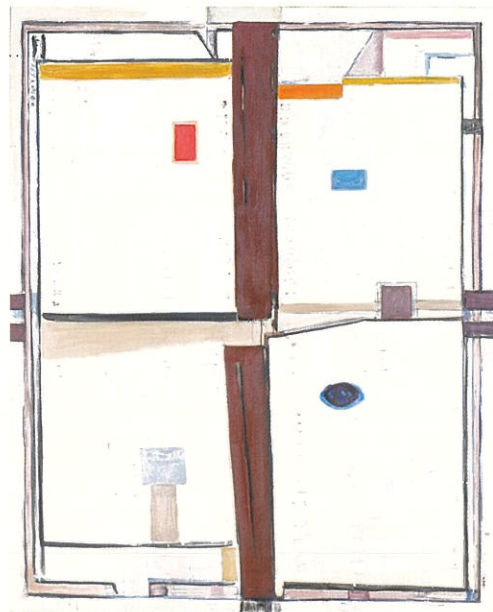
しかしながら、感染対策に努めつつ、美術文化の普及振興を図ることは、極めて重要なことと考えております。この度、創立80周年記念『県展』と共に歩んだ作家展を開催し、加えて80周年記念史の発刊を行うことといたしました。

『県展』と共に歩んだ作家展は、『県展』で活躍した県立美術館所蔵の無形文化財保持者(人間国宝)や著名な作家等の作品を65点展示すると共に、美術協会7部門の各部会(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン)から選出された会員の作品68点、合計133点の展示を行います。

今後も福岡県美術協会は福岡県を中心とした美術の普及振興、会員の相互研鑽と親和、という目的に向け、決して「コロナ禍」に負けることなく、前向きに取り組んで参ります。会員の皆様のご協力をよりよくお願い申し上げます。



彫刻 富永 朝堂「迎陵類伽の夢」



洋画 赤星 孝「イビサ」

■会期 | 2020年12月19日(土)~12月27日(日)
■会場 | 福岡県立美術館 3階展示室1~3号 ■入場料 | 無料
■休館日 | 12月21日(月)は休館 ■開館時間 | 10:00~18:00 (入場は17:30まで)
主催:公益社団法人福岡県美術協会
後援:福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団
協力:福岡県立美術館

「県展」と共に歩んだ作家展 (掲示作品は、福岡県立美術館収蔵展示作品です)



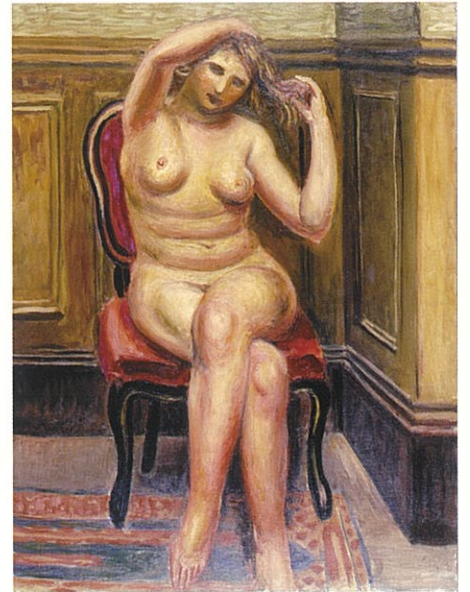
彫刻 安永 良徳 「1956年作品第21」



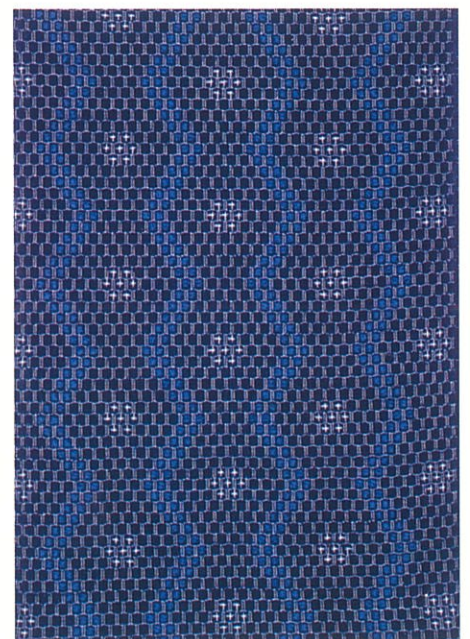
日本画 上田 宇三郎 「人物 二重像」



工芸 太田 熊雄
「白打掛飴釉大皿」



洋画 児島 善三郎 「梳る女」



工芸 森山 虎雄(2代)
「久留米緋着尺「花と波紋」」

「県展」と共に歩んだ作家展に寄せて

福岡県立美術館 副館長兼学芸課長 魚里 洋一

福岡県美術協会創立80周年記念展の開催にあたり、心からお祝い申し上げます。その上、本展へ当館所蔵品を出品しご協力できることが誠に嬉しく、そして誇りに感じている次第です。

さて、創立時の80年前は、いわゆる紀元2600年と詠われた昭和15年(1940)にあたり、全国的にそれを祝う行事が相次ぎ、美術界でも会派を超えた大規模な紀元二千六百年奉祝展が東京府美術館(現・東京都美術館)で開催されています。この祝賀ムードとも大きく連動して、わが福岡県においても、東京や関西等で活躍する出身作家や福岡在住の指導的立場にある作家が結集し、同年11月26日に福岡県美術協会

が発足、同日から「第一回福岡美術協会展覧會」が福岡市天神の岩田屋で開催され、今日の福岡県展へ至る起源となりました。その創立委員19人は錚々たる顔ぶりで、福岡のみならず日本の近代美術史を彩った作家が並び、今回の記念展でも、例えば、水上泰生、吉村忠夫、坂本繁二郎、児島善三郎、中村研一、山崎朝雲、富永朝堂、安永良徳、豊田勝秋らが展覧されます。

なお、この第一回県展図録の巻頭言では、その開幕を「一つの文化史的事件」と熱く称えています。ぜひ、県展を創始した先人たちの情熱にも思いを馳せていただきながら、より多くの方々に本展が鑑賞されることを願っています。

福岡銀行ふるさと振興基金の助成を受けました。

一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団は、地域文化の発展・向上・振興に寄与することを目的とした福岡銀行ふるさと振興基金(助成金事業)により、文化活動を通して地域に貢献している団体または個人へ助成を行っています。今回「県展」と共に歩んだ作家展が助成を受けることとなり、令和2年8月25日(火)に、福岡県立美術館会議室にて贈呈式が行われました。(事務局長 田浦 哲也)



〈 賛助会員のご紹介 〉

多くの企業の御支援を
いただいています。

- 九州電力(株)
- (株)福岡銀行
- 西部ガス(株)
- 西日本鉄道(株)
- (株)西日本シティ銀行
- (株)九電工
- (株)愛和
- 朝日自動車(株)
- (株)味の兵四郎
- 有澤ホールディングス(株)
- (株)ACR
- (株)岩田屋三越
- (株)ヴォイス
- (株)エターナルラボ
- 大松隆税理士事務所
- 北九州書道協会
- (株)喜多屋
- ギャラリーSEL
- (株)久原本家グループ
- 健康住宅(株)
- (医)佐田厚生会佐田病院
- 社会福祉法人 さわかか会
- (株)サンビルテックシステム
- (株)上海堂
- 祥文社印刷(株)
- (資)書材の丸大
- (株)新出光
- (株)杉田写真館
- (有)スズキ補聴器センター
- (株)ゼンリン
- 太宰府天満宮
- タマホーム(株)
- (株)テレビ西日本
- (株)唐人ペーカリー
- 東美福岡店
- トヨタカローラ博多(株)
- 長門博之法律事務所
- (学)中村学園
- (株)中村美術堂
- (学)中村産業学園
(九州産業大学・九州産業大学造形短期大学部)
- 日本デザイナー学院
- (株)博多大丸
- (株)博運社
- 筥崎宮
- 美術総業 白美堂(有)
- 晩香堂
- (株)樋口工業
- 福岡芸生美術会
- 福岡ロジテム(株)
- (株)平助筆復古堂
- 平成美術(株)
- 墨扇堂
- ミナミ画材
- 南谷総合法律事務所
- (株)山本文房堂
- 文房四宝 和美創
- (株)ワン・オフ

「生まれ変わる被災木」

「祈りといのちの彫刻」

ともたり
知足(知足院) 美加子(彫刻部会員)

「自然災害の被災者は、「昨日と繋がらない今日」を生きていることを強いられます。九州北部豪雨災害(2017)では約21万トンの流木被害があり、木に対して恐怖や怒りが向けられがちでした。私は九州大学災害復興支援団の一員として、その負の感情を緩和するため「被災木再生プロジェクト」に取り組みました。

災害直後、泥で真っ白になっている大樟の流木に出会いました。被災地では、その樹齢とほぼ同じ144年も続いた複数の小学校が被災し、統廃合されました。私は被災した子ども達のために、この流木で水の守神としての「龍」を彫ることにしました。新設の杷木小学校に設置されたところ、子どもが「この龍がいるから、もう災害が起こらないような気がする」と言ってくれました。どんな功績よりも嬉しく、誇らしく思いました。

また、この災害で英彦山山嶺の樹齢300年

の山桜が倒れてしまいました。地域の方々の願いをうけ、この材で英彦山守護童子を彫ることにしました。「倒れた木のいのちを、愛され尊ばれるものとして再生する力」が、彫刻にあると信じていることができました。



《花開童子と福太郎童子(吉木のヤマザクラ)》2019年



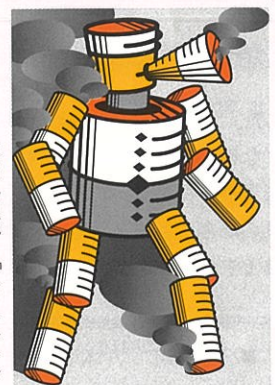
《朝倉龍》2018年

デザイン部企画

デザイン部の出品作品の絵葉書を入場者にプレゼント!

3密を避けての取り組みということから今回、80周年記念展覧会のおりに、デザイン部らしい取り組みが出来るのではないかと発想いたしました。来場者にも喜んでもらえ、出品者も励みになり、また80周年展覧会の記念になることから、今回絵葉書をプレゼントすることといたしました。楽しみに展覧会にお越しください。

(デザイン部委員長 岩崎勇)



大宝拓雄 「ニコチンマン」

2020福岡県シニア美術展を終えて

シニア美術展運営委員長 小林 敏夫

今回のシニア美術展は、コロナ禍での開催でしたが、予想の他404名の応募が有り、来場者も2,200名近くを数えました。今回は、業者による搬入に限定し、アクロス福岡と県立美術館の会場に分けたにも拘わらず、ご参加頂いた皆さまの熱意に敬服しました。

また運営委員や7部門の会員ご担当の皆様を支えられました。その結果として何事も無く、展覧会を終える事が出来、全ての関係各位に心よりお礼申し上げます。

この度は、サプライズとして応募者全員の作品写真が掲載された図録を参加賞として

進呈した他、両展覧会場の動画撮影を行い、県庁・美術協会のホームページにWEB配信し、会場に来られなくても、展示の様子を観て頂ける展覧会となりました。最後になりましたが、今回の図録作成にご尽力賜りました九州産業大学造形短期大学部写真系の先生や学生さんに心より感謝いたします。



令和2年度 福岡県教育文化表彰



鐘ヶ江勢二

(副理事長・書部会委員)

この度は、思いがけなく福岡県教育文化表彰をいただきました。

このような表彰に値するような活動や貢献をしてきたのかと振り返れば、まだまだという思いのみです。

県美術協会に入会して39年、理事に就任して以来19年となりますが、役割を充分には果しきれていないのが実状です。この受賞を機に、県美術協会や各地方自治体の文化祭、美術展に、しっかりと取り組み、貢献してまいりたいと心新たにしている次第です。

令和3年度《部会委員改選》のお知らせ

各部会委員の任期は、令和3年度定時総会までとなっています。改選の日程等(予定)をお知らせします。ぜひ投票並びに定時総会への参加をお願いします。

- 第1回選挙管理委員会開催(投票用紙発送)…令和3年2月初旬
- 投票…郵送にて返送。(平成31年時の投票率は68%でした。)
- 第2回選挙管理委員会開催…2月下旬
開票、当選者への連絡(承諾確認)
※開票は選挙管理委員会及び県立美術館関係者1名の立会いの下に行います。
- 第3回選挙管理委員会開催…3月初旬
各部の当選者の確認→理事長へ報告
- 理事会開催…3月中旬
新部会委員の承諾
- 新メンバーによる第1回部会委員会
理事候補の推薦、正副委員長の決定
- 定時総会…6月中
理事の承認並びに新役員の選任

- 選挙管理委員会
委員長/田浦 哲也(事務局長)
委員/各部会事務局長

(文責:田浦哲也)

慎んでお悔やみ申し上げます。

- 内村 延子さん(87歳) 洋画 令和2年10月
- 石川 裕子さん(82歳) 工芸 令和2年11月

編集後記

大変な特別な一年が、経とうとしている。こんな時に新型コロナウイルス第3波が騒がれ出した。北海道など寒い地域は、風邪と重なって、これからが大変な時期になる。本当に今年だけの特別なときになってほしいものだ。来年こそ福岡県展も、どんたくも、山笠も普通に開ける年になってほしい。特効薬の研究も各国本腰を入れている。これだけは丑年に合わせず、大特急でやってもらいたいものだ。

(文:山田彰)

松枝哲哉さんを偲んで



松枝哲哉氏は、日本工芸会染織分野で活躍されていたことはご存じのことと思います。

そのような大変多忙の中、福岡県美術協会では、工芸部会役員として長く工芸部発展のために貢献され、今期は副委員長を快く承諾して頂きました。個人的には、同じ年齢で1989年美術協会入会が同じということで親しく雑談できたことを思い出します。

平成25年、第69回福岡県展工芸部の審査を一緒にする機会があり、審査の休憩時間に松枝君が今の久留米継承の大変さと後継者育成について



第70回県展受賞作品 久留米絁着物「朝涼」

力強く語られたことを思い出します。その時は、毎日の晩酌が楽しみらしくて、「いつでも自宅に来て、飲みましょ」と言われたけど実現できなかったのが大変心残りです。心よりご冥福をお祈りします。

(工芸部会委員長 丸田 巧)

松枝哲哉氏

(本名 松枝哲也)

- 久留米絁作家
- 久留米市田主丸町 ●64歳(令和2年7月逝去)
- 公益社団法人福岡県美術協会 工芸部 会員
- 久留米絁技術保持者会会長(染・括・織の保持者)
- 祖父の人間国宝(重要無形文化財保持者)故・松枝玉記さんより藍染めと手織りの技を学んだ。
- 第67回日本伝統工芸展「文部科学大臣賞」受賞 作品名「光芒」

fas gallery 展覧会・出版のご案内

自由課題 たなけん展vol.6

- 令和3年3月23日(火)-3月28日(日)
- 福岡県立美術館 3階 4号展示室

九州産業大学短期大学部名誉教授田邊幹夫先生を慕う仲間がそれぞれ自由な作品を持ちよっての楽しい展示会。



原野恭子《曇珠沙華 猫》

※新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、展覧会の中止、または閉館の場合があります。開催の有無をご確認の上、お出かけください。